

2023年3月29日 名古屋競輪議会

特別会計予算に対する反対討論

【岡田ゆき子議員】令和5年度名古屋競輪組合競輪事業特別会計予算について、反対の立場で討論します。

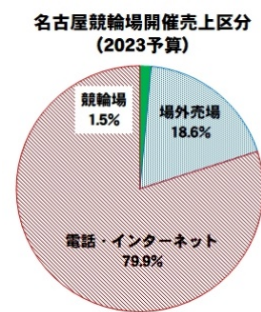
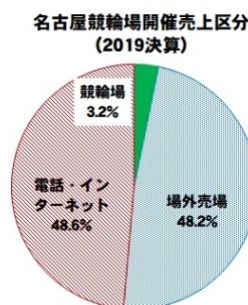
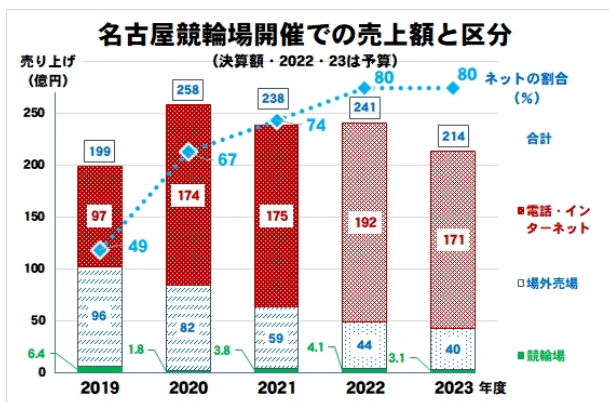
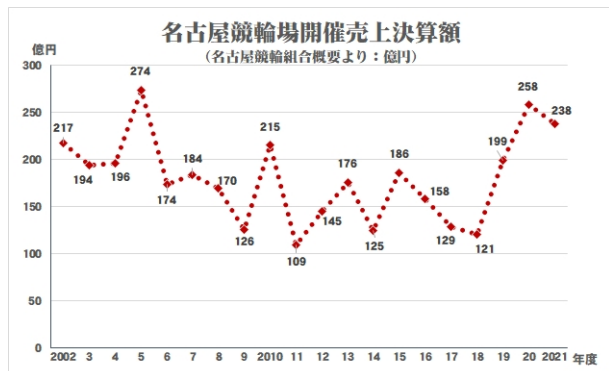
来年度予算は、開催するグレードにより、本場開催売上額は前年度当初予算比の88.6%と低くなっています。しかし、その中であっても、売上額の79.9%を電話・インターネットが占めると見込んだ予算となっており、それは、昨年度、今年度に比べても、インターネット売り上げの割合は伸び続けています。

コロナ感染発生後、急激に増えたインターネット販売は、気軽に車券が購入できることから、HPサイトには射幸性を喚起する様々なサイトの勧誘が複数見られるなど、ギャンブル等依存症に陥る危険性が、コロナ前に増して上がっていることが危惧されます。

昨年3月25日に、ギャンブル等依存症対策推進基本計画が出されていますが、ギャンブル等依存症対策のメインは、啓発と自己申告による購入制限に頼らざるを得ないものであり、決定的にギャンブル等依存症をなくすには、賭博そのものをなくす以外にないと考えます。

自転車競技のスポーツとしての振興を図るため、BMXエリアの整備が進められていますが、自治体が担うスポーツ施策ではなく、その原資がギャンブル等依存症の発生が危惧される公営賭博によるものでよいのか議論されるべきと考えます。

以上のことから、ネット販売に売り上げの約8割を依存することとなる、来年度予算は認められません。



民間ポータルサイトへの事務委託料

・事務委託料	総額 18 億 4800 万円
民間ポータルサイト	17 億 6800 万円
CTC (JKAが運営する 電話、ネット投票)	8000 万円